

地球を支える絆に感謝！

赤い羽根チャリティー演芸会

赤い羽根共同募金運動期間中の11月22日、熊石地区共同募金委員会主催の「赤い羽根チャリティー演芸会」がふれあい交流センターくまいし館で開催され93,900円が八雲町社会福祉協議会へ寄附されました。同委員会では、歌や踊りを通してみんなで楽しみながら、共同募金への理解を広げてもらおうと毎年実施しています。演芸会では、熊石町内会連絡協議会やボランティア協議会、老人クラブ連合会のほか、熊石高齢者ダンスサークルによる歌や踊りが披露され、来場者約120人が一体となって心ゆくまで楽しみました。



自分で打った蕎麦は別格！

男のための料理体験

11月26日、熊石総合センターでふれあいサークル事業「男のための料理教室」（八雲町社会福祉協議会主催）が開催され、参加者10名がそば打ちに挑戦しました。相沼小学校の齋坂道雄校長先生を講師に迎え、そば粉と小麦粉を混ぜ、水を加えていく「水回し」から始め、生地をこね、めん棒で延ばし、そば切り包丁で切りそろえていきました。参加者は、そば打ち初心者が多く、生地をこねる作業や、均一な太さに揃えるそば切りに悪戦苦闘。ようやく出来上がったそばを試食しながら、「太さがばらばら」「歯ごたえが強いねえ」など出来映えに感想を述べ、会話に花を咲かせていました。



犯罪防止により一層協力を！

一日警察官による啓発訪問

12月3日、熊石地域の小学1年の児童7人が八雲警察署の一日警察官に委嘱され、町内の金融機関等を訪問して防犯意識の向上を訴えました。熊石防犯クラブ（代表 飯田慶春）主催で、事件や事故が懸念される歳末を前に、地域住民や関係機関の防犯意識の高揚のため毎年行われています。はじめに委嘱状の交付式が熊石総合支所で行われ、制服姿の児童一人ひとりに八雲警察署菅原正樹署長から委嘱状が手渡されたあと、児童らは町内金融機関や事業所等を訪問し、「犯罪防止に、より一層協力をお願いします」と訴え、防犯メッセージを手渡しました。



「いのち」「作った人」「運んだ人」などへ感謝を込め！

東野小学校 収穫祭

12月4日、東野小学校にて農家の青年で組織される東野山後継者会やPTAが協力し、東野小学校収穫祭が実施され児童33名が食べ物について学習しました。児童達は、田植えや収穫体験、調理をとおり、食べ物を作る大変さ、食事の大切さを学びました。ジュニア食育マイスターで地元農業者の林さんは「食べるということは生き物の命を頂くこと。食べる時は、命をくれた生き物、作ってくれた人、運んでくれた人などに感謝の気持ちで【いただきます】。食事が終わる時は、料理してくれた人などへ感謝し【ごちそうさま】を言おう」と子どもたちに伝えました。この後、地元産風の子もちのキャラクターやくもっちが応援する中、後継者会が餅つきを指導し、できあがった餅のお雑煮をみんなでおいしく食べました。

